

【研修会報告】

ユニフィケーション学習会「行動制限最小化研修～倫理的視点を含む～」

日 時：令和 6 年 12 月 10 日(火) 13 時～14 時

内 容：島根県立大学の看護学科精神看護学の日野雅洋先生と島根県立こころの医療センターの副師長会で「行動制限最小化研修～倫理的視点を含む～」についての学習会を企画し開催しました。

こころの医療センターでは、日々行動制限最小化に向けて取り組んでいますが、この度ユニフィケーション学習会で講師の先生をお招きし、行動制限研修を行いました。前年度から引き続き 2 回目の行動制限最小化の研修で今年度はグループワークを取り入れ、多職種で話し合う場を設けました。講義では国内外の行動制限の現状や行動制限を受けられた患者さんの語りを知る貴重な機会となりました。倫理観の醸成にむけて「これが正しい」ではなく、考え続けることが大切という言葉をいただき、参加者からも「モヤモヤを自分の中にとどめず発信しみんなで考えていきたい」「患者さんの立場から医療者がどうみえたのか考え、安心・安全な存在になれるよう関わっていきたい」と感想が聞かれました。

グループワークでは「明日から自分にできること」をテーマに 5 グループにわかれ多職種で語り合いました。明日から自分にできることを 1 つ 1 つ取り組んでいこうと前向きな話し合いができ、有意義な研修となりました。今後も病院全体で行動制限最小化に取り組んでいきます。

